

施策No.	政策名	快適な暮らしのまちづくり	主管課	建設課	主管課長名	建設課
5-3	施策名	道路網の整備	関係課	なし		

1. 施策の目的と成果把握

目的	施策の対象	対象指標名	単位	区分	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	
	市内の道路 利用者が安全で快適に通行できる環境が整っている。	①市内道路延長(国道、県道、市道)	見込値	km	見込値	1,642	1,643	1,644	1,645	1,646
実績値						1,632				
見込値										
見込値										
②道路未改良延長(一級・二級市道) ③市内の道路が安全だと感じる市民の割合 ④危険箇所数(通学路)		目標値	m	目標値	18,400.0	17,800.0	17,200.0	16,600.0	16,000.0	
					実績値	18,434.0				
		目標値	%	%	目標値	33.0	33.5	34.0	34.5	35.1
						実績値	18.3			
		目標値	箇所	箇所	目標値	20.0	15.0	10.0	5.0	3.0
						実績値	15.0			
目標値			目標値							
実績値			実績値							

成果指標設定の考え方	○市内の道路交通については、①で幹線道路の改良が進んでいるか、②で市民が道路の安全性にどの程度満足しているか、③で危険箇所数で通学路の安全対策が進んでいるか、で把握する。
成果指標の把握方法と算定式等	○①道路未改良延長(一級・二級市道)は、国土交通省道路局の道路施設現況調査より求める。②市内の道路が安全だと感じる市民の割合は、市民アンケートより求める。③危険箇所数(通学路)は、通学路安全推進会議(通学路交通安全プログラム)より求める。

2. 施策の成果水準とその背景・要因

1) 現状の成果水準と時系列比較(現状の水準は以前からみて成果は向上したのか、低下したのか、その要因は?)

実績比較	<input type="checkbox"/> 成果がかなり向上した	<input type="checkbox"/> 成果がどちらかといえば向上した	<input checked="" type="checkbox"/> 成果がほとんど変わらない(横ばい状態)
	<input type="checkbox"/> 成果がどちらかといえば低下した	<input type="checkbox"/> 成果がかなり低下した	
背景・要因	市内の道路が安全だと感じる市民の割合については、国庫交付金事業の通学路整備や橋梁長寿命化・定期点検事業等、また、多くの行政区要望に対応するため、生活道路の改良工事や維持補修工事を実施しており、近年は徐々に回復しここ数年20%を超えるまで戻ったが、今年度は18.3%と大きく低下した。 道路未改良延長(一級・二級市道)については、令和3年度は18,477m、令和4年度は18,434mであり43mとわずかに向上した。 危険箇所数(通学路)については、令和2年度は1箇所となったが、八街市での事故を受け、合同点検した結果、令和3年度に危険箇所数が25箇所に増加したが、そこから今年度は15箇所と減少している。		

2) 成果目標の達成状況

実績比較	<input type="checkbox"/> 目標値の全てを上回った	<input type="checkbox"/> 一部の成果指標で目標値を上回った	<input type="checkbox"/> 目標値どおりの成果であった
	<input checked="" type="checkbox"/> 一部の成果指標で目標値を下回った	<input type="checkbox"/> 目標値の全てを下回った	
背景・要因	①道路未改良延長(一級・二級市道)については、幹線道路の改良を実施しており、着実に数値を伸ばしているが目標値を若干下回った。 ②市内の道路が安全だと感じる市民の割合については、目標値に及ばず、実績値も昨年度より大きく低下した。 ③危険箇所数(通学路)については、道路補修の優先箇所として、かなりの箇所数を対応し、目標値を上回った。		

3. 施策の成果実績に対しての総括と今後の課題・方針

施策の成果実績に対しての総括	今後の課題・方針
施策の目指す姿の実現に向けた取り組みの中で、以下の事業が大きく貢献したと考える。 「道路改良事業」により、市民がスムーズに快適に市内を移動できるように、新規路線の整備、既存市道の拡幅、側溝整備、通学路整備等の改良を図り、また、多くの要望に対して補正予算を計上して「道路補修事業」を実施したが、「市内の道路が安全だと感じる市民の割合」の向上には至らなかった。 「上曽トンネル整備事業」では、市道M2760号線(上曽トンネル)の整備について、工事発注後の諸調整や設備工事協議を行い、事業進捗を図ることができ、市道の整備に貢献した。	道路利用者が安全で快適に通行できる環境を整えるため、市内の道路網の整備を図る。 昨年度に引き続き、市道の「道路改良事業」、「道路補修事業」に重点的に取り組み、合わせて本市と周辺地域間の交流の活性化等を促すため、本市と周辺地域間を結ぶ幹線道路の整備促進を国・県に働きかけていく事にも力を入れて取り組んでいきたい。 また、防災・減災、国土強靱化の考えに基づき、新たな財源を活用し道路網の整備、改修に取り組んでいきたい。